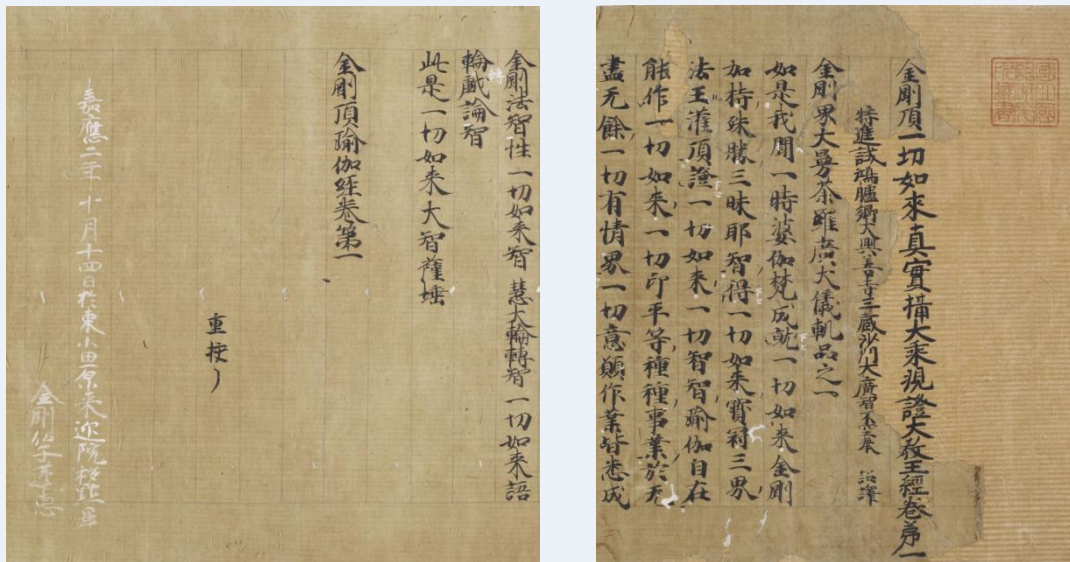


訓点資料の構造化記述

リーダー： 准教授 高田智和
〔共同研究員：8名〕

平安・鎌倉時代の訓点資料



漢文を日本語として訓むための仮名・記号

これらを解読することで、日本語史資料としての価値が生まれる



しかし、デジタル化が遅れている



構造言語による記述方法の検討と提案

日本の訓点資料研究者、韓国の口訣資料研究者との連携